



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban



← 昨年末に出版された暗算の本がとても好評のようです。2ケタ×2ケタの暗算が誰でも簡単に出来る「おみやげ算」という方法が読者に受けている模様。詳細は省きますが、確かにこの方法なら誰にでも簡単にできそうだなあと感心すると同時に、他方ではこのレベルなら珠算経験者の大半がスラスラと暗算で出来ますよ〜と世間にアピールしたくなってきました。異なるアプローチですが、それぞれのスキルを身につければ最強と言えそうです…。

第 415 回 全珠連主催 検定試験

試験日：令和 5 年 5 月 28 日（日）*アイウエオ順

祝

努力が実を結びました！

そろばん 珠算検定				
合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
四段	林 亜 蓮	小坂井東小	6年生	高見
2 級	石 黒 日 菜	牛久保小	6年生	高見
	鈴 木 桃 寧	牛久保小	4年生	高見
	松 井 千 紗	牛久保小	6年生	高見
暗算検定 あんざん				
合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
準三段	首 藤 菜 仁	天王小	5年生	塔ノ木
初 段	伊 藤 彩 羽	牛久保小	6年生	高見

合格

おめでとう！

- ✓ 次回の全珠連検定試験は 7 月 23 日。(1~3 級あんざんは 21 日 & 22 日)
- 7 月検定は 1 週間早く実施 (通常月は最終日曜日、3 月と 7 月のみ最終の一つ前の日曜日)。

林亜蓮くんは点数が伸び悩んでいた珠算段位 見取り算を今回の検定から初めて暗算で挑戦したところ最高点をゲット、見事に四段合格となりました (更にまだ伸びそうな勢い…)

えっ、そろばんの見取り算を暗算ってどういうこと？とお感じになるかもしれませんが、すべての数字をまるごと暗算するのではなく、3ケタごとに分割して計算していきます。

例えば右の問題の場合、まず右端の3ケタ (C) を暗算で足していき 4891 の 891 だけ記入します。千の位の4は (B) に移行し今度は 4 + (B) を足していきます。(B) の合計を出して 2576 の 576 を記入して百万の位の2を(A)に移して最後に 2 + (A) を足していけば合計が出ます。この程度なら最後は (A) プラス (B) で4ケタ計算しても良いかもしれません。

1 級までの検定試験は見取り算の問題数は 15 問、時間は 7 分と決まっていますが、段位は同じ 7 分間で問題数は 30 問となり問題のレベルも上がります。もちろん級位と同じようにソロバンを使用して OK なのですが、その場合どうしても出来る問題数が限られてしまいます (個人差はありますが、どんなに早く珠を弾いても 18~20 問あたりが限界)。ソロバンを使うと物理的に指で珠を動かす必要がありますが、とりわけ見取り算の場合は何度も珠を弾く必要があるため、珠の動く回数に比例してそれだけのより多くの時間を費やしてしまいます。

そこで暗算の登場です (じゃ〜ん) ! 当然ですが暗算だとソロバンの珠は動かさず、アタマの中で素早く珠を動かしていくため時間短縮になりますし、ソロバンに比べると圧倒的 (たぶん 2~3 割は) に早く答えに辿り着きます。

ただし…言葉にするほどコトは簡単には進んでくれません。速さと正しさはトレードオフの関係にあるので、速い分だけミスも起きやすくなります。このため精度が高い暗算力を身につけることが不可欠になってくる訳です。5 月から始めたアバカスサーキットの狙いもそうですが、とにかく暗算力のスキルアップが第一目標。最初は何回やっても答えが合わなくて本当にイヤになりそうですが、誰でもそのプロセスは経験します。「継続は力なり」という有名なフレーズがありますが、これは本当ですよ〜。心の底から 100% 同意します。

*最初は加算 (足し算だけ) 問題だけ暗算で行い、加減算 (引き算の入っている問題) はソロバンでやるなど最初は工夫しながら進めます。そろばん段位に入ったら思い切って「見取りは暗算！」に挑戦してみましょう。

(A) (B) (C)

59641
5172
8450
850627
1283460
29347
3905
5169783
8294016
872490

(答 16,576,891)